

もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	浜田水産事務所	氏名	佐藤 勇介
派遣先 団体名	邑智郡田舎体験交流協議会(事務局;邑南町役場商工観光課内)		

①研修の日時

●島根大学留学生の田舎体験交流の運営スタッフ

日程	午前	午後
9月6日(金)	・研修について打ち合わせ ・オリエンテーションの会場設 営、立会	・体験模様の記録 ※当日は実際に農家民泊を 行った
9月10日(土)	・体験模様の記録	・9月末の研修について打ち合 わせ

●広島市立伴南^{ともみなみ}小学校5年生民泊体験の運営スタッフ

日程	午前	午後
9月24日(火)	・「カヌーの里おおち」でカヌー体験の支援	
9月25日(水)	・三瓶登山の支援、体験交流の打ち合わせ	
9月26日(木)	・田舎体験交流補助、体験模様の記録	
9月27日(金)	・体験模様の写真編集、スラ イドショーの作成	・お別れ会(立会、会場撤去)

②研修の内容(できるだけ詳しく記載してください。)

●島根大学留学生の田舎体験交流の運営スタッフ

参加者:島根大学留学生22名、島根大学生6名、島根大学職員3名

島根大学留学生の日本文化理解を図るため、島根大学と邑南町の協力で行われている田舎体験交流の運営スタッフを務めた。留学生は農家民泊での田舎生活体験、地元出羽神楽団による石見神楽の鑑賞、地元小学生とのワークショップ等を行い、地元住民との交流を深めた。



●広島市立伴南ともみなみ小学校5年生民泊体験の運営スタッフ

参加者：伴南小学校5年生174名、伴南小学校教員9名

・カヌー体験

9月24日(火)に伴南小学校が民泊体験に合わせて実施した「カヌーの里おおち」でのカヌー体験の支援、お別れ会のスライドショーに使う写真の撮影を行った。また、当日はカヌー体験の他、近辺の自然散策、カヌー博物館の見学を行っていた。



・三瓶登山

9月25日(水)に伴南小学校が民泊体験に合わせて実施した三瓶登山の支援、お別れ会のスライドショーに使う写真の撮影を行った。当日は雨天だったが、参加したほぼすべての生徒が山頂に登頂することが出来た。



・田舎体験交流

9月26日(木)、9月27日(金)に平成21年度から実施されている伴南小学校の邑智郡(邑南町、川本町、美郷町)での田舎体験交流の支援、お別れ会のスライドショーに使う写真の撮影を行った。今年度は合わせて42軒(邑南町32軒、美郷町7軒、川本町3軒)の農家民泊で小学生の受け入れを行った。各農家民泊では、農作業や物づくり体験などを行い、小学生達は「都会」では出来ない「田舎」の暮らしを経験した。



① 研修の感想

(研修の全般的な感想、各団体での活動の意義や協働に対する感想(研修前後における意識の変化)等について記入してください。)

【田舎体験交流(農家民泊)の意義について】

今回の田舎体験交流は伴南小学校5年生にとって非常に良い経験になったと思います。農家民泊の初日は堅い表情をしていた子供達も徐々に慣れていき、2日目以降は生き生きと田舎体験をしていました。私達が各民泊を訪問した際も楽しそうに受け入れ先で会話をしており、すぐに住民の方と打ち解けることが出来ていると伺えました。

私自身も今回、研修の一環として初めて農家民泊をさせて頂き、貴重な体験が出来ました。民泊先ではその日初めて逢ったとは思えないほど家庭的な雰囲気を受けて頂き、気を張らずくつろぐことができました。また、各民泊にお任せの田舎体験も(そこに住んでいる方には当たり前かもしれませんが)初めての私には新鮮な体験が多く、充分、そのために訪れる価値のある魅力的な体験だったと思います。

邑智郡、特に邑南町では数多くの町民の方が農家民泊として登録しており、(潜在的には)多くの観光客を受け入れることができるので、農家民泊による田舎体験を観光の一つの柱として地域を盛り上げていくことが出来るのではないかと思います。

【これからの課題について】

邑智郡では多くの町民が農家民泊の登録をしており、民泊に対する町民の理解が非常に進んでいます。しかし、宿泊希望者に対する民泊の窓口は役場の職員が業務の一環として行っており、多数の宿泊要望に対する対応は現状では難しい状況です。邑智郡内には受け入れるキャパシティはすでにあるので、調整役の機能を官民でうまく構築していくことが今後の課題として考えられました。

② その他特記事項

(※今後の研修実施に当たっての改善点、留意しておくべきことなどがあれば記入してください。)

(注1)研修日時・内容等がわかる資料があれば、添付してください。

(注2)研修終了後、報告会を開催します。